対象校No.

注4

学校コード F127310108018 注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分: 学部の学科の設置

注1

認可

注2

大阪樟蔭女子大学 学芸学部 リベラルアーツ学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人樟蔭学園 令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画調査部経営企画課

職名・氏名 課長・吉田 裕亮

電話番号 06-7506-9346 (内線: 2402) (夜間) 06-7506-9346 (内線: 2402)

e — mail keiei.kikaku@osaka-shoin.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、 該当番号を記載してください。

目次

学芸学部

< J	Jベラルアーツ学科>	^°-	ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	6
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	12
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	13
5.	教育研究実施組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	14
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	30
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	33

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人樟蔭学園

- (2) 大 学 名 大阪樟蔭女子大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4丁目2番26号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	モリ シンタロウ 森 眞太郎 平成11年5月24日		
学長	タケムラ カズオ 竹村 一夫 令和4年4月1日		
学 部 長	カワカミ マサヒロ 川上 正浩 _{令和6年4月1日}		
学科長	ッジ ヒロミ 辻 弘美 _{令和7年4月1日}		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 令和6年度に報告する内容 → (6)令和7年度に報告する内容 → (7)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません) 。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください。
 - 様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、

 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ださい。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	ح ^و قالا
学芸学部 リペラルアーツ学科 学士 (リペラルアーツ)	文学関係	4 年	40	2年次 0 人次 3年次 0 人次 4年2	160		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を() 書きで記入してください。

 - 及来を支えられる。1887年168と前の人気が、タスナイン人のもなしていたとい。 基礎となる学部等かる場合には、「福子」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、

 - 「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和2年度	2 年度 令和3 年度 令和4 年度 令和5 年度 令和6 年度 令和7 年 でかれ0年間 春季入学 その他の早期 春季入学 その他の年期 春季入学 その他の年間 春季		令和7年度	春季入学以外の 学期区分につい	収容定員	収容定員 充 足 率	備考		
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	T	充 足 率	(控除後)	Cr. mu
A 入学定員	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	40人 — 人 — (—) [—]	-			
志願者数	(-) (-) [-] [-]		(-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	4 — (-) (-) [-] [-]	春季入学以外の入学時期と			
受験者数	(-) (-) [-] [-]	(-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	4 — (-) (-) [-] [-]	入学定員内訳	0.02 倍	— 倍	
合格者数	(-) (-) [-] [-]			((-) (-) [-] [-]	(-) (-) [-] [-]	2 - (-)(-) [-][-]				
B 入学者数						1 — (-) (-) [-] [-]				
入学定員超過率 B/A	_	_	_	_	_	0. 02				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、
 - (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
 - に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。

なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、
- 下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。) ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて

- 報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「(5)-② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	令和 2	2 年度	令和:	3 年度	令和 4	4 年度	令和 5	5年度	令和 (6年度	令和 7	7 年度		備	考
学 年		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		VIII	73
		-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1	_			
1	1 年次	-	[-]			[-]			_			[-]	[-]			
-		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	_		-		
	2 年次			[-]	_ [_ 1	_ [_ 1	[-]	[-]	[-]	[–]	_ [_ 1	- -	[-]			
	,				(-)	_							(-)			
			$\overline{}$		$\overline{}$	-	-	_	_	_	_	_	-			
3	3年次			/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
		_		_		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
Ι,	4 年次							_ [_ 1	_ [_ 1	_ [_ 1	[-]	1	_ [_ 1			
	7+%								(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
												1	1	1		
	計	[]	[]	[]	[]	[]	[-	-]			
		()	()	()	()	()	(-	-)			

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ [] 内には、留学生の状況について、内数で記入してください。 該当がない年度には「-」を記入してください。
 () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。 該当がない年度には「-」を記入してください。

 - ・ <u>組入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備者欄に人数の内駅を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。
 ・ 育力にていては、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
	在学者数(b)	退学者数(a)			 !者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	(H) I william lacy
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
市和0千皮	^	^	令和3年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
17410千汉			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和7年度	1 人	0 人	令和4年度	- 人	- 人	
171日7 干汉			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。 (過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

<u>令和2年度の退学者数(a)</u> 令和2年度の在学者数(a+b) = - #VALUE!	=	- %
【令和3年度】		
<u>令和3年度の退学者数(a)</u> 令和3年度の在学者数(a+b) = " #VALUE!	=	- %
【令和4年度】		
令和4年度の退学者数(a)	=	- %
【令和5年度】		
令和5年度の退学者数(a) = - 令和5年度の在学者数(a+b) = #VALUE!	=	- %
【令和6年度】		
令和6年度の退学者数(a) = - 令和6年度の在学者数(a+b) = #VALUE!	=	- %
【令和7年度】		
令和7年度の退学者数(a) = 0 令和7年度の在学者数(a+b) 1	=	0 %

(注)・<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<学芸学部 リベラルアーツ学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

			配	主要	į	单位数	女	基	幹教	員等	の配	置	の書を教修
	目 [分	授業科目の名称	当年次	授業 科目	必	選	自	教	准 教	講	助	助	除員者 く)助り
(学-	十課程	基幹教育科目)			修	択	由	授	授	師	教	手	手列
() -	誘へ権いの商	樟蔭の窓	1前	I	1			1					1
	=	女性のライフサイクル	1-2-3-4前			2							1
樟蔭	女から	ジェンダーを考える	1-2-3-4後			2							1
基	0	現代に生きる女性たち	1-2-3-4後			2							2
礎 科	豊か	笑いは人をつなぐ	2・3・4前			2							2
目	な情	感性の技法	2・3・4後			2							2
	操	うつくしいという体験を考える	2・3・4後			2							1
	小計(7科目)	-		1	12	0	1	0	0	0	0	6
	1 111 1	アカデミック・スキルズA アカデミック・スキルズB	1前		1								1
	=	新聞で学ぶ日本語A	1後		1	1							1 2
	テーケラ・	新聞で学ぶ日本語B	1-2-3-4酮			1							1
	ラシー	生活の中の日本語A	2-3-4前			1							1
	~ ~	生活の中の日本語B	2·3·4後			1							2
	日本	論理トレーニング	1-2-3-4後			1							1
	語リ	言語とコミュニケーション	2・3・4後			2							1
		Communicative English 1r	1-2-3-4前			1							1
		Communicative English 1o	1-2-3-4後			1							1
		Communicative English 2y	ı			1							1
		Communicative English 2g	ı			1							1
		Communicative English 3b	ı			1							1
		Communicative English 3v	ı			1							1
		Basic English bk	1-2-3-4前			1							
		Basic English w Basic English 1r	1-2-3-4後			1							1
		Basic English 1o	1-2-3-4個										¦
		Basic English 2y	1-2-3-4前			;							ľ
		Basic English 2g	1-2-3-4後			1							1
		Basic English 3b	1-2-3-4前			1							1
		Basic English 3v	1-2-3-4後			1							1
		資格の英語A	1-2-3-4前			1							1
言		資格の英語B	1-2-3-4後			1							1
語	1111	旅行の英語	1-2-3-4前-後			1							1
科目	=	留学の英語	2-3-4前-後			1							1
	ケー	接客英会話	1-2-3-4前-後			1							1
	ショ	ニュースの英語	2-3-4前			1							
	1	Conversation and Fluency A Conversation and Fluency B	ı			1							l
	ン (アジアの言語・文化を知る				1							
	外国	海外外国語演習A	1-2-3-4			2							
	語	海外外国語演習B	1-2-3-4			2							1
		海外外国語演習C	1-2-3-4			2							1
		異文化演習	1-2-3-4			1							1
		中国語 I	1-2-3-4前			1							1
		中国語Ⅱ	1-2-3-4後			1							1
		中国語皿	2・3・4前			1							1
		中国語Ⅳ	2・3・4後			1							1
		韓国·朝鮮語 I 韓国·朝鮮語 Ⅱ	1-2-3-4前			1							1
		韓国・朝鮮語皿	1-2-3-4後			1							1
		韓国·朝鮮語IV	2-3-4後			1							1
		ドイツ語 I	1-2-3-4前			1							1
		ドイツ語 II	1-2-3-4後			1							1
		フランス語 I	1-2-3-4前			1							1
		フランス語 II	1-2-3-4後			1							1
		スペイン語 I	1-2-3-4前			1							1
		スペイン語Ⅱ	1-2-3-4後	Ш		1							1
	小計(49科目)	-	<u> </u>	2	51	0	0	0	0	0	0	15
	挫	情報と社会	1前		2								1
数	情報	情報処理基礎A	1前		1								1
理	IJ	情報処理基礎B	1後		1								1
情報	テラ	暮らしとAI・データサイエンス AI・データサイエンス(データと社会)	ı		2	,							1
科	シー	AI・データサイエンス(テータと社会) AI・データサイエンス(データ分析)	ı			2							1
目	'	数学でわかるAIのエッセンス	1/2/2/4前/後			2		1					Ι΄
_	1												

【令和7年度】

13	孙	7 年度】 			-	w 11 a	,		0.4				
	目	担業利日の夕社	配当	主要授業	必必	単位数	自	教	幹教 准	員等	の配り	置 助	の基 を教幹 除員教
	分	授業科目の名称 	年次	授業 科目	必修				教				く (員) 助手外
(学:	上課程	<u>L</u> 基幹教育科目)			198	択	由	授	授	師	教	手	1 //
	誘へ棒いの商	樟蔭の窓	1前		1			1					1
+==	_ こ _ れ	女性のライフサイクル(未開講)	1-2-3-4前			2							2
樟蔭	女 性 ら	ジェンダーを考える(未開講)	1-2-3-4後			2							1
基礎	豊	現代に生きる女性たち(未開講) 笑いは人をつなぐ(未開講)	1-2-3-4後	\vdash		2							2
科目	かな	感性の技法(未開講)	2-3-4街			2							2
н	情操	うつくしいという体験を考える(未開講)	2・3・4後			2							1
	小計((7科目)	-		1	12	0	1	0	0	0	0	7
	П /// п	アカデミック・スキルズA	1前		1								1
	-	アカデミック・スキルズB	1後		1								1
	テーテーラ・	新聞で学ぶ日本語A(未開講) 新聞で学ぶ日本語B(未開講)	1-2-3-4前			1							2
	テラシー	生活の中の日本語A(未開講)	2-3-4前			1							1
	ر ک	生活の中の日本語B(未開講)	2・3・4後			1							2
	本語	論理トレーニング(未開講)	1・2・3・4後			1							1
	IJ	言語とコミュニケーション(未開講)	2・3・4後			2							1
		Communicative English 1r	1-2-3-4前			1							1
		Communicative English 1o Communicative English 2y(未開講)	1-2-3-4後			1							1
		Communicative English 2g(未開講)	ı			1							1
		Communicative English 3b(未開講)	1-2-3-4前			1							1
		Communicative English 3v(未開講)	1・2・3・4後			1							1
		Basic English bk(未開講)	1-2-3-4前			1							1
		Basic English w(未開講)	1-2-3-4後			1							1
		Basic English 1r	1-2-3-4前			1							1
		Basic English 1o Basic English 2y(未開講)	1-2-3-4後			1							1
		Basic English 2g(未開講)	1-2-3-4後			1							1
		Basic English 3b(未開講)	1 - 2 - 3 - 4前			1							1
		Basic English 3v(未開講)	1・2・3・4後			1							1
		資格の英語A(未開講)	1・2・3・4前			1							1
言		資格の英語B(未開講)	1-2-3-4後			1							1
語科	1 1	旅行の英語(未開講) 留学の英語(未開講)	1-2-3-4前-後			1							1
目	ニケ	接客英会話(未開講)	1-2-3-4前-後			1							1
	- 1	ニュースの英語(未開講)	2-3-4前			1							1
	ショ	Conversation and Fluency A(未開講)	3-4前-後			1							1
	<u>ک</u>	Conversation and Fluency B(未開講)	3·4後			1							1
	外	アジアの言語・文化を知る(未開講)	2-3-4前			1							1
	語	海外外国語演習A(未開講) 海外外国語演習B(未開講)	1-2-3-4			2							1
		海外外国語演習C(未開講)	1-2-3-4			2							1
		異文化演習(未開講)	1-2-3-4			1							1
		中国語 I (未開講)	1-2-3-4前			1							1
		中国語Ⅱ(未開講)	1-2-3-4後			1							1
		中国語皿(未開講)	2-3-4前			1							1
		韓国・朝鮮語 I (未開講)	1-2-3-4前			1							1
		韓国・朝鮮語Ⅱ(未開講)	1-2-3-4後			1							1
		韓国・朝鮮語皿(未開講)	2-3-4前			1							1
		韓国・朝鮮語IV(未開講)	2·3·4後			1							1
		ドイツ語 I (未開講)	1-2-3-4前			1							1
		ドイツ語 II (未開講) フランス語 I (未開講)	1-2-3-4後			1							1
		フランス語 I (未開講)	1-2-3-4酮			1							1
		スペイン語 I (未開講)	1-2-3-4前			1							1
		スペイン語 II (未開講)	1-2-3-4後			1							1
	小計((49科目)			2	51	0	0	0	0	0	0	14
	情	情報と社会 情報処理基礎A	1前 1前		2								1
数	報	情報処理基礎B	1後		1								1
理情	リテ	暮らしとAI・データサイエンス(未開講)			2								1
報科	ラシ	AI・データサイエンス(データと社会)(未開講)	2-3-4前			2							1
目	ĺ	Al・データサイエンス(データ分析)(未開講)	2·3·4後			2							1
	\/\ = 1 ·	数学でわかるAIのエッセンス(未開講)	1-2-3-4前-後	\vdash	_	2	_	1		_			Ļ
	小県((7科目)			6	6	0	1	0	0	0	0	1

科			配	主要	j	单位数	t	基	幹教	員等	の配	置	の基 を教幹
区	日	授業科目の名称	当年	授業科目	必	選	自	教	准教	講	助	助	除員 数 員 以
		お学しけ なか	次		修	択	由	授	授	師	教	手	手外
		数学とは何か 物理で考える暮らし	1-2-3-4前-後			2		1					1
	自	化学で考える暮らし	1-2-3-4後			2							ľ
	然	宇宙へ拡がる私たちの世界	1-2-3-4後			2		1					
	の理	健康の科学	1-2-3-4後			2							1
	解	ライフステージと栄養	1-2-3-4前-後			2							2
		生命の成り立ち	1-2-3-4前-後			2		1					
		美しい地球を創る	2-3-4前-後			2							2
		私たちはどう生きるか 文学の読み方	1-2-3-4前-後			2							1
		文字の読み方 歴史の読み方	1-2-3-4前-後			2		1					1
	ᆺ	自己の探求	1-2-3-4後			2		'					2
	文の	心のしくみ	1-2-3-4前-後			2							1
樟	探求	心の健康	1-2-3-4前-後			2		1					
蔭	~	宗教と現代	1-2-3-4後			2							1
教養		ポップカルチャー論	1-2-3-4前-後			2							1
科目		表現するからだ、考えるからだ	⊢			2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前-後			2							1
		日常生活と法家計・消費と経済	1-2-3-4前-後			2							1
	社会	家計・消貨と経済 現代社会と生活者の視点	ı			2							,
	^	子育てを考える	1-2-3-4後			2							Ĺ
	の視	地域課題とボランティア活動	ı			2							1
	点	地球と社会の歩き方	2-3-4前-後			2			1				
		国際社会と平和	2・3・4休			2							1
		多様性社会を生きるとは		L_		2			1				
	体験	和の伝統芸道	1-2-3-4後			1							1
	験の	レクリエーションと健康	2·3·4後			2							1
	方法	運動と健康A 運動と健康B	1-2-3-4前			1							1
		(30科目)	1-2-3-490		0	57	0	4	2	0	0	0	21
	7 11	キャリア設計	1後・2前		_	1		_					1
±	+	キャリア開発	2前			1							1
	ヤリ	キャリア研究	3前			2							1
7	r	キャリア実習A	2通			2							1
	系 斗	キャリア実習B	3通			2							1
E	∃	キャリア実習C	4通			2							1
学士!	甲担其	小計(6科目) 幹教育科目 合計(99科目)	<u> </u>	<u> </u>	9	10	0	0 4	2	0	0	0	40
					J	130	U	4		U	U	U	
. /		アーツ字科県収科日1											•
-	+	アーツ学科専攻科目) 知への扉	1前	0	2			5	1				3
R	基		1前 1後	0	2 2			5 4	1				3 2
有	楚 斗	知への扉 知の技法 科学的方法の理解	ı										
有	楚	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目)	1後 1後 一	0 0	2 2 6	0	0	4 2 5		0	0	0	2
有	楚 斗	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human)	1後 1後 一 1前	0 0 1 0	2 2 6 2	0	0	4 2	1	0	0	0	2 4
有	楚 斗	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society)	1後 1後 一 1前 1後	0 0 1 0 0	2 2 6 2 2	0	0	4 2 5 2	1	0	0	0	2 4 7
有	楚 斗	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human)	1後 1後 一 1前 1後 2前	0 0 0 1 0 0 0	2 2 6 2 2 2	0	0	4 2 5	1 2	0	0	0	2 4
耐	楚 1 1 1	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I	1後 1後 一 1前 2前 2後	0 0 0 0 0	2 2 6 2 2		0	4 2 5 2	1	0	0	0	2 4 7
所 和 E	港	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I	1後 1後 一 1前 1後 2前	0 0 0 1 0 0 0	2 2 6 2 2 2	0 2 2 2	0	4 2 5 2	1 2	0	0	0	2 4 7
所 和 E E	楚 1 1 1	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学実践演習 I	1後 1後 一 1前 2前 2前 3前	0 0 0 0 0 0	2 2 6 2 2 2	2	0	4 2 5 2	1 2 2	0	0	0	2 4 7
所	楚 	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I	1後後一1前後前後前後3前後	0000000	2 2 6 2 2 2	2 2	0	4 2 5 2 1	1 2 2	0	0	0	2 4 7
を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	菱 学 科 ヨ ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学キャリア実践演習 地域課題調査実習 地域課題調査実習	1後後 一 1前後前後前後 36後	00 1 0000000	2 2 6 2 2 2	2 2 2	0	4 2 5 2 1	1 2 2 2	0	0	0	2 4 7
所	菱 学 科 ヨ ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	知への原 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学キャリア実践演習 地域課題調査実習 地域課題調査実習 中域課題調査実習	1後後 一 11後前後前後後前前後 44	00 1 0000000000	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2	0	0	0	2 4 7
所	菱 学 科 ヨ ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学実践演習 E 地域課題調査実習 空業研究A 卒業研究B 卒業論文	1後後 一 10後前後前後後前 30 30 30 31 41	00 1 000000000	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				7
有	菱科目 PBL科目	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学年ペリア実践演習 地域課題調査 生物域課題調査 生物で発 中業研究A 卒業研究A 卒業論文 小計(11科目)	1後後 - 11後前後前後後前前後通 - 44 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 -	0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18	2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2	0	0	0	1
和末日 FEI木目	菱科目 PBL科目 人間	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学舞実践演習 I 人間科学類実践演習 I 人間科学類実践演習 I 人間科学類等 本業研究A 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 小計(11科目) 心理学概論	1後後 - 1前後前後前前後通 - 1前	0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2
和末日	菱斗目 PBL科目 人間を	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学年ペリア実践演習 地域課題調査 生物域課題調査 生物で発 中業研究A 卒業研究A 卒業論文 小計(11科目)	1後後 一 1前後前後前後前前後通 前前 1前 1前	0010000000000100	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2 1
和 不 E	楚斗ヨ PBL科ヨ 人間を里躍	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学更践演習 I 人間科学更まと決演習 I 人間科学更まと決演習 I 人間科学更まと決議で 中華、研究A 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論	1後後 - 1前後前後前前後通 - 前	0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2
敬不自 「FEI不自」 ノ門 ざ 知角で	楚斗ヨ PBL枓ヨ 人間を埋搾す	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学更実践演習 I 人間科学東践演習 I 人間科学東ま選演習 I 人間科学東ま選演習 I 人間科学東野文学表演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論 心理学表験	1後後 - 1 1後前後前前後通 - 前前後	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2 1
敬不 日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	楚科ヨ PBL科ヨ 人間を理解するた	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学主践演習 I 人間科学主践演習 I 人間科学主以ア実践演習 本業研究A 卒業研究B 卒業研究B 卒業研究B 中理学概論 心理学概論 心理学概論 心理学表 の理學実験 心理研究法演習(面接・観察)	1後後 - 11後前後前前後通 - 前前後前 21111111111111111111111111111111111	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2 1 2
有本目	楚科ヨ PBL科ヨ 人間を里解するため	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課題実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学主践演習 I 人間科学主以了実践演習 I 人間科学主以了実践演習 E 中域課題字キャリア実演音 卒業研究A 卒業研究A 卒業倫文 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論 心理学概論 心理等研究法 必理等要該演習(面接・観察)	1後後 一前後前後前前後通一前前後前 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2 4 7
60 末日 - 『日日末日 - 『月で田舎でそかるの末日	競斗目 PBL科目 人間を里探するための科	知への原 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課程態実践演習 I 人地域課程等実践演習 I 人間科学キャリア実践演習 u 地域課題調査 空業研究A 卒業研究B 卒業研究B 卒業研究B 卒業研究B 中型学研究 が、11科目) 心理学研究法 心理呼呼変法演習「極後、観察 の地理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究法 心理研究 新生之りティカル・シンキング 脳科学とその応用 消費者行動論	1後後 - 前後前後前前後通 - 前前後前後後前前後通 - 前前後前後後	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 5 2 1 2 2 2 2 2 1 1 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0	0	1 2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1
6年日 - 『日本日 - 一八門でお角ででナるの末日	楚科ヨ PBL科ヨ 人間を里解するための	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課料題実践演習 I 人間科学キャリア実践演習 U 地域課料題調整字実践演習 I 人間科学キャリア実践演習 E 地域課刊 地域課題 事業 事業 事業 事業 中本業研究A 卒業 研究A 卒業 新文 小計(11科目) 心理学研究 版心理學研究 版心理學研究 表 中理研究 表 中 中 明 明 明 中 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	1後後 - 前後前後前前後通一前前後前後後前前 - 1前後前後後前前 - 223 - 11 - 11 - 12 - 12 - 12 - 13 - 14 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15	00 0000000000 0000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0 0 0				1 2 4 7
6 末日 「FFI末日 」ノ門で刊角でマナめの末日	競斗目 PBL科目 人間を里探するための科	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人地域評學実践演習 I 人間域課學実践演習習 I 人間域課學実践演習習 I 人間域課學実践演習習 I 人間域課學等実践演習 I 人間域課學等実践演習 I 人間域課學等等来付別表 中華、研究日 卒業研究日 卒業研究日 中華、研究日 中華、研究 中理等の表 心理理等の表 心理等の表 心理等の表 が、 ので、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	1後後 - 前後前後前後後前前 1000 -	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 18 2 2 2 2 2 2 3 6 8 1 8 1 8 1 8 2 2 2 2 2 3 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 2 2 2 3 1 3 1 2 3 1 8 1 2 3 1 2 3 1 2 2 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1 2 2 2 3 1 2 3 2 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 5 2 1 2 2 2 2 2 1 1 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 6
敬禾目 『FEI禾目 』)門を現代でそれるの禾目 地域	是科目 PBL科目 人間を里解するための科目 也或	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人地域計學実践演習 I 地域課題実践演習習 I 人間域課學実践演習習 I 人間域課學等実践演習習 I 人間域課學等実践演習 I 人間域科学題調子 中域課題或者 中華、 中華、 中華、 中華、 中華、 中華、 中華、 中華、 中華、 中華、	1後後 - 1 1 1 1 1 2 2 2 3 3 3 3 4 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	00 0000000000 0000	2 2 2 6 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 3 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 5 2 1 2 2 2 2 2 1 1 1	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0 0 0	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 6
敬末日 『『日本日 』 「『古田角ででかめの末日 出地古田	是科目 PBL科目 人間を聖解するとめの科目 也或を聖	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課學整実践演習習 I 人間科学等実践演習習 I 人間科学等実践演習 I 人間科学等実践演習 I 人間科学類字 業務 中東等 中間 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題	1 後後 - 前後前後前後後前前 4 4 4 4 - 前前後前後後前前 - 前前後前後後前前 2 2 2 3 3 3 - 1 1 1 1 2 2 4 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	001000000000010000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0 0 0	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 6
敬末日 『FI末日 』門で刊角でそからの末日 対対で刊角	是科目 PBL科目 人間を里探するどめの科目 也或を里探	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間域課学実践演習 I 地域課学整実践演演習習 I 人間域課学等実践演演習習 I 人間域課学等実践演演習 M 中間報報 M 中間報 M 中間報 M 中間報 M 中間報 M 中間報 M 中間報 M 中間 M 中間 M 中間 M 中間 M 中間 M 中間 M 中間 M 中間	1 後後 一 1 1 2 1 2 2 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 一 1 1 前後前後後前前 一 前前後後	00 0000000000 0000	2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 5 2 1 2 2 2 2 2 1 1 1	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0 0 0	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 1 1 1 1 6
敬不日 「日本日 」「日を知角でよからの不日 」 対域を現角でよ	是科目 PBL科目 人間を里探するための科目 也或を里探する │	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I 地域課學整実践演習習 I 人間科学等実践演習習 I 人間科学等実践演習 I 人間科学等実践演習 I 人間科学類字 業務 中東等 中間 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題調 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題 中域課題	1 後後 - 前後前後前後後前前 4 4 4 4 - 前前後前後後前前 - 前前後前後後前前 2 2 2 3 3 3 - 1 1 1 1 2 2 4 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	001000000000010000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0 0 0	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 6
成末日 FE 末日)間で現角ででするの末日 対対で現角でです	走抖目 PBL科目 人間を里探するための抖目 也或を里探するた	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間域課學実践演習 I 地間課學学裏践演習習 I 人間域課學類字裏等 強素研究B 卒業研究B 卒業職論文 小計(11科目) 心理学學無験習面接。 心理學學実験 個版。 地間理學學表演 不動的。 心理理學完法 基礎。 中期的。 中期的。 中期的。 中期的。 中期的。 中期的。 中期的。 中期的	1後後 - 10後前後前後後前前後通 - 10前後前後後前前後通 - 前前後前後後前前 - 10前後後前 - 10前後後後前前 - 10前後後前		2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 8	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	0	0	0	1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1
利木目 「FEI木目 」「門で取得でってするの末目 」 対対で取角でってするの	是科目 PBL科目 人間を聖探するための科目 也或を理解するための	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践講習基礎(Society) 人地域科學等実践議演習『 地域科類題学等実践議演習『 地域科學等期 報報等等期 報報等等期 治力 中型学等表 音型等 一型理學等表 音型等 を楽業研究B 中心理理等所 音型等 一型理等所 音型等 一型理等所 音型。 一型理等 一型理等 一型理等 一型理等 一型理等 一型理等 一型理等 一型理等	1後後 - 11後前後前後後前前後通 - 前前後前後後前前 - 前前後後前後 1111222233前 - 前前後前後 121233		2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 8	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	0	0	0	1 1 2 1 2 1 1 1 1 6 6 1 1 1
位本目 FE 本目 一門を現角ででするの本目 地域を現角ででするの本	走斗ヨ PBL斗ヨ 人間を里解するたの刀斗ヨ 也或を里解するため	知への扉 知の技法 科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践講習基礎(Society) 人地域開発整理(Society) 人地域開発整理字実践議演習 I 地域限野学実践議演習 I 地域限野学生表現演習 I 地域限野学生表現演習 I 人地域開刊を開始を発生が表 卒業・研究 卒業・研究 卒業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1後後 — 1 1 2 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 — 1 1 1 1 2 2 2 3 3 3 3 1 — 1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 1 — 1 前前後前後前後前		2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 8	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1

			配	主要	j	单位数	女	基	幹教	員等	の配	置	の基を教幹
科 区	日分	授業科目の名称	当年	土安 授業 科目	必	選	自	教	准教	講	助	助	を除く) 財教員(助料
ldash		************************************	次	17 []	修	択	由	授	授	師	教	手	手外
		数学とは何か(未開講) 物理で考える暮らし(未開講)	1-2-3-4前-後			2		1					1
	自	化学で考える暮らし(未開講)	1-2-3-4後			2							1
	然の	宇宙へ拡がる私たちの世界	1-2-3-4後			2		1					
	理	健康の科学(未開講)	1-2-3-4後			2							1
	解	ライフステージと栄養(未開講)	1-2-3-4前-後			2							2
		生命の成り立ち 美しい地球を創る(未開講)	1-2-2-4前-後			2		1					
		夫しい地球を剧る(木用語) 私たちはどう生きるか(未開講)	2-3-4前-後			2							1
		文学の読み方(未開講)	1-2-3-4前-後			2							1
	١.	歴史の読み方(未開講)	1-2-3-4前-後			2		1					
	文	自己の探求(未開講)	1-2-3-4後			2							1
	の探	心のしくみ	1-2-3-4前-後			2							1
樟蔭	求	心の健康 宗教と現代(未開講)	1-2-2-4前-後			2		1					1
教		ボップカルチャー論(未開講)	1-2-3-4前-後			2							1
養科		表現するからだ、考えるからだ(未開講)	2-3-4前			2							1
目		日本国憲法	1-2-8-4義			2							2
		日常生活と法(未開講)	1-2-3-4前-後			2							1
	社会	家計・消費と経済(未開講) 現代社会と生活者の視点(未開講)	1-2-3-4前-後			2							1
	会へ	現代社会と生活者の視点(未開講) 子育てを考える(未開講)	1-2-3-4後			2							1
	の視	地域課題とボランティア活動	1-2-3-4前-後			2							1
	点	地球と社会の歩き方(未開講)	2-3-4前-後			2			1				
		国際社会と平和(未開講)	2·3·4休			2							1
		多様性社会を生きるとは(未開講)	2-3-4期-後			2			1				
	体験	和の伝統芸道(未開講)	1-2-3-4後			1							1
	の	レクリエーションと健康(未開講) 運動と健康A(未開講)	2-3-4後			2							1
	方法	運動と健康B(未開講)	1-2-3-4級			1							1
	小計	(30科目)	_		0	57	0	4	2	0	0	0	24
		キャリア設計	1・2後			1							2
1	キ ヤ	キャリア開発(未開講)	2前			1							1
	J P	キャリア研究(未開講)	3前			2							1
3	ĸ	キャリア実習A(未開講) キャリア実習B(未開講)	2通			2							1
Į į	\$ ∃	キャリア実習C(未開講)	4通			2							1
L		小計(6科目)	-		0	10	0	0	0	0	0	0	3
_		幹教育科目 合計(99科目)	-		9	136	0	4	2	0	0	0	45
(リ/	ベラル	アーツ学科専攻科目) 知への扉	1 25	0									
	甚 楚	知への原知の技法	1前		0			E	-1				,
Ŧ			1後	0	2			5 4	1				3 2
l [‡]	4	科学的方法の理解	1後 1後										
$\overline{}$	¥ ≣ 			0	2	0	0	4		0	0	0	2
		科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human)	1後 一 1前	0 0 1 0	2 2 6 2	0	0	4 2	1	0	0	0	2
		科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society)	1後 一 1前 1後	0 0 1 0 0	2 2 6 2 2	0	0	4 2 5 2	1	0	0	0	2 4 7
		科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習I(未開講)	1後 一 1前 1後 2前	0 0 0 1 0 0 0	2 2 6 2 2 2	0	0	4 2 5	1 2	0	0	0	2
ı		科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society)	1後 一 1前 1後	0 0 1 0 0	2 2 6 2 2	0	0	4 2 5 2	1	0	0	0	2 4 7
E	∃ 	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 【未開講) 地域課題実践演習 【未開講)	1後 一 1前 1後 2前 2後	00000	2 2 6 2 2 2		0	4 2 5 2	1 2	0	0	0	2 4 7
E I	B 3 □	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 【未開講) 地域課題実践演習 【 (未開講)	1後 一 1前 1後 2前 2後 3前	000000	2 2 6 2 2 2	2	0	4 2 5 2	1 2 2	0	0	0	2 4 7
E I	∃ 3 L	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題素数演習 I (未開講)	1後 一 1前 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	000000000	2 2 6 2 2 2 2 2	2 2	0	4 2 5 2 1 2	1 2 2 2 2	0	0	0	2 4 7
E I	B 3 □	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 [(未開講) 地域課題実践演習 [(未開講) 地域課題調査実習 (未開講)	1後 一 1前後前後前 3後 3前 4前	00 00000000	2 2 6 2 2 2 2 2	2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2	1 2 2 2 2 2	0	0	0	2 4 7
E I	B 3 □	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 [(未開講) 地域課題実践演習 [(未開講) 地域課題調査実習 (未開講) を業研究A(未開講) 卒業研究A(未開講)	1後 1前後前後前後 3後前 4前後 4後	00 1 0000000000	2 2 6 2 2 2 2 2 2	2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2	0	0	0	2 4 7
E I	B 3 □	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 [(未開講) 地域課題実践演習 [(未開講) 地域課題調査実習 (未開講)	1後 一 1前後前後前 3後 3前 4前	00 00000000	2 2 6 2 2 2 2 2	2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2	1 2 2 2 2 2	0	0	0	2 4 7
E I	33 4 4 3 3 1 1	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学美技濟習 (未開講) 地域課題美技濟習 (未開講) 地域課題美技濟習 I (未開講) 地域課題美技濟習 II (未開講) 地域課題美技濟習 II (未開講) 地域課題美技濟習 II (未開講) 地域課題調査実習 (未開講) や業研究名(未開講) 卒業研究名(未開講) 卒業研究名(未開講)	1後 1前後前後前後 3後前 4前後 4後	00 1 0000000000	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6	2 2 2 2		4 2 5 5 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1
E I I F F F F F F F F F F F F F F F F F	目 ○3↓料目 人間	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習「(未開講) 地域課題美技演習「(未開講) 地域課題美技演習「(未開講) 地域課題美技演習「(未開講) 地域課題美技演習「(未開講) 地域課題美技演習「(未開講) 地域課題美技演習「(未開講) 地域課題美技演習「(未開講) を実研究名(未開講) 卒業研究名(未開講) 卒業論文(未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学研究法	1後 1前 2前 33 34 4 4 1 2 2 3 4 4 5 6 7 8 8 9 9 1 2 <td>0010000000000100</td> <td>2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td> <td>2 2 2 2</td> <td></td> <td>4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2</td> <td>1 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1 2 1</td>	0010000000000100	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2 1
	目 一人間を里	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 「(未開議) 地域課題実践演習 「(未開議) 地域課題実践演習 I (未開議) 地域課題実践演習 II (未開議) 地域課題実践演習 II (未開議) 地域課題調査(未開講) 地域課題調査(未開講) を楽研究名(未開講) 卒業研究名(未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学研察法 心理学実験	1後 - 1前後前後前後後前 4 6 4 4 4 4 1 1 前後	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2 4 7 1 1 2
1年 日 ・	目 つるしは目 人間を里深す	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 [(未開講) 地域課題実践演習 I(未開講) 地域課題実践演習 I(未開講) 地域課題実践演習 I(未開講) 地域課題調査実習(未開講) 地域課題調査実習(未開講) 本業研究A(未開講) 本業論文(未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論 心理学研究法 心理学表 (以理学研究法 心理学実験 (以理研究法) (以理学表表)(本展)(本展)(本展)(本展)(表展)	1後 - 前後前後前後後前前後通 - 前前後前	0010000000000100	2 2 6 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2 1 2
1 日本日 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	目 つ3L科目 人間を里解する	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 「(未開議) 地域課題実践演習 「(未開議) 地域課題実践演習 I (未開議) 地域課題実践演習 II (未開議) 地域課題実践演習 II (未開議) 地域課題調査(未開講) 地域課題調査(未開講) を楽研究名(未開講) 卒業研究名(未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学研察法 心理学実験	1後 一 前後前後前後後前前後通 一 前前後前後 2 2 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1
	目 つ3L科目 人間を里解するとの	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題調查実習 (未開講) 地域課題調查実習 (未開講) 本業研究A(未開講) 卒業研究A(未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論 心理学概論 心理学表談言 (未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学表談言 (本開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学表談言 (本開講) 小部(21科目)	1後 - 前後前後前後後前前後通 - 前前後前	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 2 1 2
日本日	目 つ3 □科目 人間を里解する □	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I (未開演) 地域課題実践演習 I (未開演) 地域課題実践演習 I (未開演) 地域課題実践演習 I (未開演) 地域課題実践演習 I (未開演) 地域課題調査実習 (未開講) 地域課題調査実習 (未開講) 本業研究A(未開講) 本業研究A(未開講) 本業研究B(未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論 心理学概論 心理学表験 心理導査基礎実習 (未開講) い地理部査基礎実習 (未開講) い地理部査基礎実習 (未開講) い地理部査基礎実際 (未開講)	1後 一 前 後 前 後 前 前 後 通 一 前 前 後 前 後 前 前 後 通 一 前 前 後 前 2 後 道 2 後	00100000000001000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 1 2 1 2 1 2
1 日本 日 ・	目 つ3L科目 人間を里躍するにかり	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学美技濟習 [(未開講) 地域課題美法濟習 [(未開講) 地域課題美法濟習 [(未開講) 地域課題美法濟習 [(未開講) 地域課題調查実習(未開講) 地域課題調查実習(未開講) 地域課題調查案官(未開講) 小計(11科目) 心理学級論 心理学(新漢) 心理學(研究法) 心理學(研究法) 心理學(研究法) 心理學(新漢) 心理理過查基礎実習(未開講) が計(11科目) 心理學(研究法) 心理理過查基礎実習(未開講) が計(14科目) が理算者基礎実習(未開講) が計(24科目) が対(24科目)	1後 一 1 前後 前後 前 3 後 前 前後 通 一 前 前 後 前 後 前 前 後 通 一 前 前 後 前 後 後 前 前 後 前 後 後 後 前	00 1 00000000000 1 0000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 2 8	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		4 2 5 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0				1 1 2 1 2 1 2
1 日本 日 一	目 ○3L科目 人間を里解するとのの科	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学美珠薄習 [朱開講) 地域課題美珠濟習 [朱開講) 地域課題美珠濟習 [宋開講) 地域課題美珠濟習 [宋開講) 地域課題調查実實 (未開講) 地域課題調查実實 (未開講) 地域課題調查案官 (未開講) 地域課題調查案官 (未開講) 小計(11科目) 心理学無論 心理学無論 心理理学表 (表別講) 小計(11科目) 心理學與該基礎実育(無景) 心理明調查基礎実育(無景) (中研測查基礎実育(無景) (新聞詩) が計(8科目) 世界の中の日本	1後	00100000000001000	2 2 2 6 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 2 2 6 6 8 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2 2 2 1 1 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1
1 日本 日	目 つ3L科目 人間を里解するとのり科目 也或	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学美珠湾習 「(未開講) 地域課題美珠演習 「(未開講) 地域課題美珠演習 「(未開講) 地域課題美珠演習 「(未開講) 地域課題美珠演習 「(未開講) 地域課題美珠演習 「(未開講) 地域課題等 (未開講) 地域課題 (未開講) 地域課題 (未開講) 地域課題 (本開講) 地域課題 (本開講) 地域課題 (本開講) 地域課題 (本開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論 心理學無論 心理學無論 心理學無論 心理學無論 心理學無論 心理學無論 心理學無論 心理學無論 心理學表音 (個演生概念)(未開講) が計(8科目) 世界の中の日本 社会とコミュニケーション	1後	00 1 00000000000 1 0000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 3 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2 2 2 1 1 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 7
日日末日 ノ門で現代でなかるの末日 北地で現	目 つ3 □科目 人間を里経するこの刀斗目 也或を里	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学美珠薄習 [朱開講) 地域課題美珠濟習 [朱開講) 地域課題美珠濟習 [宋開講) 地域課題美珠濟習 [宋開講) 地域課題調查実實 (未開講) 地域課題調查実實 (未開講) 地域課題調查案官 (未開講) 地域課題調查案官 (未開講) 小計(11科目) 心理学無論 心理学無論 心理理学表 (表別講) 小計(11科目) 心理學與該基礎実育(無景) 心理明調查基礎実育(無景) (中研測查基礎実育(無景) (新聞詩) が計(8科目) 世界の中の日本	1後		2 2 2 6 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 2 2 6 6 8 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1
日日本日	目 ○3L科目 人間を里躍するための科目 也或を	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題等 I (未開講) 地域課題調查案 (未開講) 地域課題調查案 (未開講) 地域課題調查 (未開講) 地域課題調查 (未開講) ル (本報 (本報 (本)	1後	00 1 00000000000 1 0000	2 2 2 2 2 2 2 2 6 18 2 2 2 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 2 1 2 2 2 2 1 1 1	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 7
日日本日	目 つ3L科目 人間を里深するこめの科目 也或を里深する	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習【(未開講) 地域課題美技演習【(未開講) 地域課題美技演習【(未開講) 地域課題美技演習【(未開講) 地域課題美技演習【(未開講) 地域課題美技演習【(未開講) 地域課題美技演習【(未開講) 地域課題美技演習【(未開講) が計(11科目) 心理学概論 文(未開講) 小計(11科目) 心理学概論 心理学概論 心理学概論 心理学概論 心理学概論 心理学概論 心理は要素を選挙(未開講) 小計(11科目) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1後		2 2 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 0 0	0	0	0	1 1 2 1 2 1 1 1 1 7 7 1 1
日日本日 人間で五角でなかるの末日 おおで五角でなかる	目 314目 人間を里降するこのの斗目 也或を里降するこの	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 [(未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題来中リア実践演習 (未開講) 地域課題来中リア実践演習 (未開講) 地域課題来中リア東政演習 (未開講) 地域課題来中リア東政演習 (未開講) 地域課題来のアスト、展開講) 地域課題来のアスト、展開講) 地域課題来のアスト、展開講) ・ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1後		2 2 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 8	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1
日日本日	目 つ3」料目 人間を里探するこのの料目 也或を里探するこ	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題等以表演 (未開講) 本業研究A(未開講) 卒業研究A(未開講) 卒業研究A(未開講) 卒業論文(未開講) 小計(11科目) 心理学概 研究 心理学概 研究 心理理學法解層(面接 報節)(未開講) 心理理數查基定が「未用活」 心理理數查基礎実習 (未開講) が計(4科目) 世界の中の日本 社家族服学 文化遺産論(未開講) 世界のよった。 「未開講) 東京化遺産経験(未開講) 国際関係論(未開講) 国際関係論(未開講) 国際関係論(未開講) 国際関係論(未開講) 国際関係論(未開講) 国際関係論(未開講) 」、大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1後		2 2 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 8	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	0	2 4 7 7 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
日日本日 人間を支角でなかめの本日 北地で支角でなかめの本日	目 つ3L科目 人間を里解するこめの科目 也或を里解するこめの	科学的方法の理解 小計(3科目) 実践演習基礎(Human) 実践演習基礎(Society) 人間科学実践演習 [(未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題実践演習 I (未開講) 地域課題来中リア実践演習 (未開講) 地域課題来中リア実践演習 (未開講) 地域課題来中リア東政演習 (未開講) 地域課題来中リア東政演習 (未開講) 地域課題来のアスト、展開講) 地域課題来のアスト、展開講) 地域課題来のアスト、展開講) ・ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1後		2 2 2 2 2 2 2 2 6 118 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 8	0	4 2 5 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	0	2 4 7 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1

7. D		配业	主要	j	单位数	女	基	幹教	員等	の配	置	の基 を教幹
科目 区分	授業科目の名称	当年	授業科目	必	選	自	教	准教	講	助	助	除員教 く(助 以
		次	符日	修	択	由	授	授	師	教	手	手外
	プログラミング演習 I	1後		1								-1
	プログラミング演習 II A	2前			1							1
デ	プログラミング演習 II B	2後			1							1
Ī	社会調査概説	1後			2							1
タ	社会調査の方法	2前			2							1
スキ	サイバーセキュリティ	3後			2							1
ル	科学的思考実験	3後			1							1
科目	基礎統計学	2前	0	2			1					
	データ解析の基礎	2後	0		2		1					
	量的データ解析実習	3前			1							1
	小計(10科目)	_	_	3	12	0	2	0	0	0	0	4
リベラルアーツ	/学科専攻科目 合計(41科目)	_	_	44	36	0	5	2	0	0	0	19
1	合計(140科目)	_	-	53	172	0	5	2	0	0	0	56

卒業要件及び履修方法

:士課程基幹教育の必修科目9単位及び選択必修科目20単位、専攻科目の必修科目44単位及び選択必修 科目4単位を含み、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

1 10		配业	主要	Ì	单位数	汝	基	幹教	員等	の配	置	の基 を教幹
科目 区分	授業科目の名称	配当年	授業 科目	必	選	自	教	准教	講	助	助	除員教 く(員)助以
		次	17 11	修	択	由	授	授	師	教	手	手外
	プログラミング演習 I	1後		1								1
	プログラミング演習 II A(未開講)	2前			1							1
_	プログラミング演習 IIB(未開講)	2後			1							1
デー	社会調査概説	1後			2							1
タ	社会調査の方法(未開講)	2前			2							1
スキ	サイバーセキュリティ(未開講)	3後			2							1
ル	科学的思考実験(未開講)	3後			1							1
科目	基礎統計学(未開講)	2前	0	2			1					
	データ解析の基礎(未開講)	2後	0		2		1					
	量的データ解析実習(未開講)	3前			1							1
	小計(10科目)	ı	_	3	12	0	2	0	0	0	0	4
リベラルアーツ学科専攻科目 合計(41科目)		_	_	44	36	0	5	2	0	0	0	19
î	合計(140科目)	-	-	53	172	0	5	2	0	0	0	60

卒業要件及び履修方法

士課程基幹教育の必修科目9単位及び選択必修科目20単位、専攻科目の必修科目44単位及び選択必修 計目4単位を含み、合計124単位以上修得すること。 履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、
 - 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、 「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は
 - 「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、

「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員

(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の

専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、

[基幹教員以外の教員(助手を除く) (大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、

<u>認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字</u>としてください。

(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
- 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。

その場合は、新かリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。

(例:記載順) 【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- 【令和7年度】

 担当者追加により、学士課程基幹教育科目樟陰基礎科目「女性のライフサイクル」の基幹教員以外の教員数を「1」から「2」に変更。

 「女性のライフサイクル」担当者適加により、樟陰基礎科目小計を「6」から「7」に変更。

 担当者変更により、学士課程基幹教育科目言語科目小計を「15」から「14」に変更。

 担当者変更により、学士課程基幹教育科目言語科目小計を「15」から「14」に変更。

 担当者変更により、学士課程基幹教育科目標館教養科教育科目「日本国憲法」の開期を「1・2・3・4前・後」から「1」に変更。

 履修友ケジュールにより、学士課程基幹教育科目を「2」に変更。

 「自己の探求」担当者変更により、学士課程基幹教育科目を「2」から「24」に変更。

 「自己の探求」担当者変更により、特権教養科目小計を「21」から「24」に変更。

 「自己の探求」担当者変更により、学士課程基幹教育科目キリア系科目「キャリア設計」の開期を「1後・2前」から「1・2後」に変更、担当教員の変更により、キャリア系科目「キャリア設計」の基幹教員以外の教員数を「1」から「2」に変更。

 「キャリア設計」担当者変更により、学士課程基幹教育科目小計を「1」から「3」に変更。

 学士課程基幹教育科目の変更により、キャリア系科目「合用小計を「1」から「3」に変更。

 学士課程基幹教育科目の変更により、デ課程基幹教育科目合計を「40」から「45」に変更。

 学士課程基幹教育科目、所属学科専攻科目「人間を理解するための科目」小計を「6」から「7」に変更。

 学士課程基幹教育科目、所属学科専攻科目「人間を理解するための教員数を「56」から「60」に変更。

- (注)・2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の

適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員教授1」から「基幹教員教授1」に変更)や、 兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合 (例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、 記入しないでください。

- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画		変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	川
28 科目	112 科目	0 科目	140 科目	28 科目 []	112 科目	0 科目	140 科目 []	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例: 1 科目減の場合: △1) ・ 指定規則の改正により、新旧かリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のかリキュラム(新かリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のかリキュラム(旧かリキュラム)の授業科目数と 設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0] %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	140	_	ľ	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

	区	分				内				容	Į.			備考
(1)	区	分		専	用	共	用		*用する 校等の			計		
校	校	舎敷均	t.	61, 859. 613 m²		0. 00 m²		m	0. 00m²		า๋	61, 859. 613 ㎡		
地	そ	の他	1		31, 889. 822m	2	0.00	m		0. 00n	า๋	31, 889. 822m²		
等	合	詴	ŀ		93, 749. 435 m	2	0.00	m		0. 00n	า๋	93, 749	. 435 m²	
				専	用	共	用		も用する 学校等の			計		
(2) 校		舎			44, 351. 87m	1	0.00)mi		0. 00n	า๋	44, 35	1. 87m²	
				(44, 3	51.87m²)	(0.00m²)	(0.0	00m²)	(4	4, 351. 87n	n [*])	
(3)教誓	室・教員研	究室		教	室		37	'室	教員研?	究室			109室	大学全体
			Į.	図書			学術	雑誌			144	械・器具	標本	
(4)	新設学 の名		〔う	ち外国書〕	電子	電子図書		[うち外国書] 電子ジャー		ジャーナ		1次1次 147六 1赤个		学科単位での特定不能 なため、大学全体の数
				冊〔うち		外国書〕	=)		重 〔うち外国書〕)	点	点	本の劣化等による除籍
図	学芸芸		241, 8	00 (39, 280) 2, 000		0 (236)	36] 4, 780 [2, 9		2, 40	5 (2, 350)	5, 322	0	が多かったため、全体的に減少
書・	リハラル)科			, 953 [39, 286] , 400 [39, 250]		8 (236)) 9 (236))	(4, 576 [: (4, 760 [:			0 (2, 244 5 (2, 340		(4, 840) - (4, 962)		電子図書は利用低のため購入を控え、電子
設 備			241, 8	00 (39, 28	2,00	2,000 (236)		4, 780 [2, 975]		2, 405 [2, 350]		5, 322	0	ジャーナルはパッケー ジ契約の提供タイトル 数変動による(7)
	計		(235 -(236	, 953 [39, 286] , 400 [39, 250]		8 (236)) 9 (236))						(4, 840) (4, 962)	(0)	
(5)	-			スポー	ツ施設		講	<u>堂</u>			厚生補	導施設		1 34 6 44
(5)	スポーツ!	他設寺			0. (00m²			0. 00m²			3, 51	1. 59 m²	大学全体
	経費	Þ	ζ.	分	開設年度	完成年月	痩 区	分	開設前	前年度	開設年度	完成	年度	
(6)	の見	教員 1	人当り	研究費等	300千円	300=	千円 図書	購入費		0千円	490 T	- 円 8	60千円	
経費の 積り及	見 び 	共 同	研 3	究 費 等 5,500千		5, 500=	千円 設備	購入費		0千円	1, 001 T	-円 3	00千円	ナル・テータベースの
維持方の 概		1 人当 り	第	1 年次	第2年次	第	3年次	第 4 年	F次	第5	年次	事6年次		整備費(運用コスト含む)を含む。
	納	付金		1,605千円	1, 325	千円	1,325千円	1, 3	25千円		— 千円	千円 一千円		
	学生	E納付金	以外の	維持方法の	概要 私立力	、学等経常 費	貴補助金, 資	『 産運用収	八、雑	収入等				

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 高等専門学校については「(3) 教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪樟蔭	女子大学									収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数 6 収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
<u>学芸学部</u>	4	350	0	1, 470		0. 84	-	-	-	大阪府東大阪市菱 屋西4丁目2番26号	
<u>リベラルアーツ学科</u>	4	40	0	40	学士 (リベラル アーツ)	0. 02	-	-	令和7	同上	
国文学科	4	40	0	220	学士	0. 66	-	-	昭和24	同上	・令和7年度入学定員減(20人減)
国際英語学科	4	30	0	150	学士 (国際英語 学)	0. 43	-	-	平成22	同上	・令和7年度入学定員減(10人減)
心理学科	4	60	0	300	学士	0. 99	-	-	平成27	同上	・令和7年度入学定員減(20人減)
ライフプランニング学科	4	40	0	220	学士 (ライフブラ ンニング)	0. 60	-	-	平成19	同上	・令和7年度入学定員減(20人減)
化粧ファッション学科	4	140	0	540	学士	1. 10	-	-	昭和24	同上	・令和5年度入学定員増(20人増)
児童教育学部	4	50	0	460		0. 41	-	-	平成25	同上	
児童教育学科	4	50	0	460	学士 (児童教育 学)	0. 41	-	-	平成25	同上	・令和5年度入学定員減(50人減) ・令和7年度入学定員減(70人減)
健康栄養学部	4	100	0	580		0. 65	-	-	平成27	同上	
健康栄養学科	4	100	0	580	学士 (健康栄養 学)	0. 65	-	-	平成27	同上	
管理栄養士専攻	4	80	0	440	学士 (健康栄養 学)	0. 67	-	-	平成27	同上	・令和7年度入学定員減(40人減)
食物栄養専攻	4	20	0	140	学士 (健康栄養 学)	0. 60	-	-	平成27	同上	・令和7年度入学定員減(20人減)
大学全体	4	500	0	2, 510	-	0. 72	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の 報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 - なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 - ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
 - 「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 - 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A Cの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - \cdot 「収容定員充足率」には、報告年度における 5 月 1 日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
 - 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<学芸学部 リベラルアーツ学科>

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

名 氏 区分 (年 齢) <就任(予定)年月> 職名 保有学位等 担当授業科目名 辻 弘美) <令和7年4月> 博士(人間発達心理学)(英国) <u>知への扉</u> ※ <u>知の技法</u> ※ 実践演習基礎(Human) 教授 (学 基 (主専) 人間科学実践演習 Ⅱ 科 人間科学キャリア実<u>践演習</u> 長) 卒業研究A <u>卒業研究B</u> <u>卒業論文</u> 心理学実験 心理研究法演習(面接・観察) 心理学概論 ※ 佐久田(佐藤) 祐子 <令和7年4月> 博士(工学) 心の健康 <u>知への扉</u> ※ <u>知の技法</u> ※ 実践演習基礎 (Human) 基 (主専) 教授 人間科学実践演習 I 人間科学実践演習Ⅱ 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B <u>卒業論文</u> 心理学実験 心理調査基礎実習 心理学概論 ※ 白川 哲郎 () <令和7年4月> 博士(文学) 基 (主専) 教授 樟蔭の窓 ※

歴史の読み方 <u>知への扉</u> ※ <u>知の技法</u> ※ 東大阪学

【令和7年度】

4		
教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		辻 弘美 () <令和7年4月> 博士(人間発達心理学)(英国)
基(主専)	教授 (科 長)	知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎(Human) 人間科学実践演習 I 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 心理学実験 心理研究法演習(面接・観察) 心理学概論 ※
基(主専)	教授	佐久田(佐藤) 祐子 () <令和7年4月> 博士(工学) 心の健康 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎(Human) 人間科学実践演習 I 人間科学実践演習 I 人間科学キャリア実践演習 至業研究A 卒業強子支 空業研究B 卒業理調査を変更である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
基(主専)	教授	白川 哲郎 () <令和7年4月> 博士(文学) 樟蔭の窓 ※ 歴史の読み方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 東大阪学

ᆂ		ı
教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	門 正博 () <令和7年4月> Docteur de Troisieme Cycle es sciences (仏国) 宇宙へ拡がる私たちの世界 生命の成り立ち 知への扉 ※ 知の技法 ※ 基礎統計学 科学的方法の理解
基(主専)	教授	中川 明子 () <令和7年4月> 理学士 数学でわかるAIのエッセンス 数学とは何か 知への扉 ※ データ解析の基礎 科学的方法の理解
基 (主専)	准教授	久島 桃代 () <令和7年4月> 博士(社会科学) 地球と社会の歩き方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題調査実習 空業研究A 空業研究B 空業論文 世界の中の日本 文化遺産論
基(主専)	准教 授	中本 剛二 () <令和7年4月> 博士(文学) 多様性社会を生きるとは 実践演習基礎(Society) 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題調査実習 空業研究A 空業研究B 空業論文
その他	教授	奥田 亮 () <令和7年4月> 修士※(教育学) 樟蔭の窓 ※ うつくしいという体験を考える 自己の探求 ※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	門 正博 () <令和7年4月> Docteur de Troisieme Cycle es sciences (仏国) 宇宙へ拡がる私たちの世界 生命の成り立ち 知への扉 ※ 知の技法 ※ 基礎統計学
		<u>科学的方法の理解</u> 中川 明子 () <令和7年4月> 理学士
基(主専)	教授	数学でわかるAIのエッセンス 数学とは何か <u>知への扉</u> ※ データ解析の基礎 <u>科学的方法の理解</u>
	准教授	久島 桃代 () <令和7年4月> 博士(社会科学) 地球と社会の歩き方 知への扉 ※
基(主専)		知の技法 ※ 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 世界の中の日本 文化遺産論
		中本 剛二 () <令和7年4月> 博士(文学)
基(主専)	准教 授	多様性社会を生きるとは 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 I 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文
その他	教授	奥田 亮 () <令和7年4月> 修士※(教育学) 樟蔭の窓 ※ うつくしいという体験を考える

北 므		
教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	高橋 裕子 () <令和7年4月> 修士※(文学) 女性のライフサイクル
その他	教授	川野 佐江子 () <令和7年10月> 博士(比較文明学) ジェンダーを考える 現代に生きる女性たち ※ 表現するからだ、考えるからだ
その他	教授	小森 道彦 () <令和7年4月> 文学修士※ 笑いは大き を 大法 を を が で で で で で で で で で で で で で で で で で
その他	教(学 長)	川上 正浩 () <令和7年4月> 博士 (心理学) 笑いは人をつなぐ 感性の技法 心のしくみ 知への扉 ※ 知の技法 ※ 人間科学実践演習 I 心理学研究法 知的生産とクリティカル・シン キング 科学的方法の理解
その他	教授	兼重 昇 () <令和7年4月> 修士※(教育学) Basic English 2y Basic English 2g ドイツ語 I ドイツ語 I

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		高橋裕子
その他	教授	<令和7年4月> 修士※(文学)
		女性のライフサイクル
		川野佐江子
その他	教授	<令和7年10月> 博士(比較文明学)
		ジェンダーを考える 現代に生きる女性たち ※ 表現するからだ、考えるからだ
		小森 道彦 ()
		<令和7年4月> 文学修士※
その他	教授	実いは人をつなぐ 感性の技法 旅行の英語 留学の英語 接客シスス語 I フランス語 I カの伝統芸 知への扉
		川上正浩
		() <令和7年4月> 博士(心理学)
その他	教授 (学 部 長)	笑いは人をつなぐ 感性の技法 心のしくみ <u>知への扉</u> ※ <u>知の技法</u> ※ <u>人間科学実践演習 I</u> <u>心理学研究法</u> 知的生産とクリティカル・シン キング 科学的方法の理解
		兼重、昇
		() <令和7年4月> 修士※(教育学)
その他	教授	Basic English 2g ドイツ語 I ドイツ語 I 中国語 I

北 巳		1
教員 区分		氏 名
		(年齢)
	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
		担当授業科目名
		遠藤 晃男
		() <令和7年4月>
		博士(工学)
その他	教授	情報と社会 情報処理基礎A 情報処理基礎B 暮らしとAI・データサイエンス AI・データサイエンス(データ と社会) AI・データサイエンス(データ 分析) 科学的思考実験 ソーシャルデザイン プログラミング演習 I
		プログラミング演習 II A
		プログラミング演習ⅡB サイバーセキュリティ
		鈴木 朋子 ()
その他	教授	<令和7年10月> 博士(人間科学)
		健康の科学
		Name of the second seco
		坂田 浩之
その他	教授	<令和7年10月> 修士※(教育学)
		自己の探求 ※
		越智砂織
		()
その他	教授	<令和7年4月> 博士(法学)
	拟攻	日本国憲法
		日常生活と法
		現代社会と生活者の視点
		n 11
		北村 (田端) 瑞穂 ()
その他	教授	<令和7年10月>
		博士(教育学)
		子育てを考える
		永野 光朗 ()
		<令和7年4月>
その他	教授	文学修士※
	大]又	
		心理学概論 ※
		<u>心理調査基礎実習</u>
- '		

10. 5		
教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		遠藤 晃男 () <令和7年4月> 博士(工学)
その他	教授	情報と社会 情報処理基礎A 情報処理基礎B 暮らしとAI・データサイエンス AI・データサイエンス と社・データサイエンス(データ と社・データサイエンス(データ 分がの思考実験 ソーングラションング演習 I プログラミング演習 II B サイバーセキュリ
その他	教授	鈴木 朋子 () <令和7年10月> 博士(人間科学) 健康の科学
その他	講師	越智 砂織 () <令和7年4月> 博士 (法学)
		日常生活と法
その他	教授	竹内 靖浩 () <令和7年4月> 学士(経済)
		現代社会と生活者の視点
その他	教授	北村 (田端) 瑞穂 () <令和7年10月> 博士 (教育学) 子育てを考える
その他	 教授	永野 光朗 () <令和7年4月> 文学修士※
		自己の探求 心理学概論 ※ 心理調査基礎実習

# Ь ⊑		
教員		氏 名
区分		(年齢)
	IIth A	<就任(予定)年月>
	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		山崎 晃男
		() <令和7年4月>
その他	教授	博士(人間科学)
		心理学概論 ※
		高橋 悟
		()
その他	教授	<令和9年4月>
		博士(教育学)
		国際関係論
		<i>₩</i> ₩ — ±
		竹村 一夫 ()
その他	教授	<令和7年4月>
	大[文	文学修士※
		 量的データ解析実習
		高田 定樹
		() <会fn7年10日>
その他	教授	<令和7年10月> 博士(学術)
		科学的方法の理解
		一條 知昭
		()
その他	教授	<令和7年10月>
		博士(薬学)
		科学的方法の理解
		松本 (佐野) 理美
	∕₩±	<令和7年4月>
その他	准教 授	博士(文学)
	汉	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		新聞で学ぶ日本語A 生活の中の日本語B
		エルタテジロ本語リ
		杉浦 隆
		()
		<令和7年4月>
		修士※(文学)
7 0 10	准教	言語とコミュニケーション
その他		Basic English bk
	授	
	授	Basic English w
	授	Basic English w Basic English 1r
	授	Basic English w
	授	Basic English w Basic English 1r
	授 ———	Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語
	授 ———	Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 濵田 信吾
	授 ———	Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 演田 信吾
		Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 濵田 信吾
その他	准 教	Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 演田 信吾 () <令和7年4月> 人類学博士(米国)
その他		Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 濱田 信吾 () <令和7年4月> 人類学博士 (米国) 海外外国語演習A
その他	准 教	Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 演田 信吾 () <令和7年4月> 人類学博士 (米国) 海外外国語演習A 海外外国語演習B
その他	准 教	Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 濵田 信吾 () <令和7年4月> 人類学博士(米国) 海外外国語演習A 海外外国語演習B 海外外国語演習C
その他	准 教	Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語 演田 信吾 () <令和7年4月> 人類学博士 (米国) 海外外国語演習A 海外外国語演習B

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山崎 晃男
その他	教授	<令和7年4月> 博士(人間科学)
		心理学概論 ※
その他	教授	高橋 悟 () <令和9年4月> 博士(教育学)
		国際関係論
その他	教授	竹村 一夫 () <令和7年4月> 文学修士※
		量的データ解析実習
7.0/1	41 IS	髙田 定樹 () () <令和7年10月>
その他	教授	博士(学術)
		<u>科学的方法の理解</u>
その他	教授	一條 知昭 () <令和7年10月> 博士(薬学)
		科学的方法の理解
		松本 (佐野) 理美
その他	准教 授	<令和7年4月> 博士(文学)
		新聞で学ぶ日本語A 生活の中の日本語B
		杉浦 隆 ()
		<令和7年4月> 修士※(文学)
その他	准教 授	言語とコミュニケーション Basic English bk Basic English w Basic English 1r Basic English 1o Basic English 2y ニュースの英語
		濵田 信吾 () <令和7年4月>
その他	准教 授	人類学博士 (米国)
		海外外国語演習A 海外外国語演習B 海外外国語演習C 異文化演習

#/L D		
教員		氏 名
区分		(年齢)
	IIth A	<就任(予定)年月>
	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		谷 明日香
その他	准教	<令和7年10月>
	授	博士(学術)
		化学で考える暮らし
		佐橋・由美
		()
	准教	<令和7年4月>
その他	授	体育学修士 教育学修士※
		運動と健康A
		運動と健康B
		育 小 古 妇
		高松 直紀 ()
		<令和7年10月>
		修士(人間科学)
その他	准教	キャリア設計
	授	キャリア開発
		キャリア研究 キャリア実習A
		キャリア実質A キャリア実習B
		キャリア実習C
		豊島の美子
		()
	准教	<令和7年4月>
その他	授	博士(人間科学)
		<u>知への扉</u> ※
		<u>社会とコミュニケーション</u>
		具 知恩
		()
	准教	<令和7年10月>
その他	授	人類学修士※(韓国)
	•	知の技法 ※
		家族関係論 社会調査概説
$\vdash \vdash \vdash$		
		野間 (常見) 万里子
その他	准教	<令和9年4月>
	授	博士(農学)
		消費者行動論
		中村 圭美
		()
その他	講師	<令和7年10月>
		修士※(行政学)
		現代に生きる女性たち ※
!		

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教 授	谷 明日香 () <令和7年10月> 博士 (学術) 化学で考える暮らし
その他	准教 授	佐橋 由美 () <令和7年4月> 体育学修士 教育学修士※ 運動と健康A 運動と健康B
その他	講師	高松 直紀 () <令和7年10月> 修士(人間科学) キャリア開発 キャリア研究 キャリア実習A キャリア実習B キャリア実習C
その他	准教 授	豊島 久美子 () <令和7年4月> 博士(人間科学) <u>知への扉</u> ※ 社会とコミュニケーション
その他	准教 授	呉 知恩 () <令和7年10月> 人類学修士※(韓国) 知の技法 ※ 家族関係論 社会調査概説
その他	准教 授	野間 (常見) 万里子 () <令和9年4月> 博士 (農学) 消費者行動論
その他	講師	神村 朋佳 () <令和7年4月> 修士 (文学) 女性のライフサイクル
その他	准教授	中村 圭美 () <令和7年10月> 修士※(行政学) 現代に生きる女性たち ※

教員		
区分		氏 名 (年 齢)
	IIth A7	<就任(予定)年月>
	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		平野 莉江子
その他	講師	() <令和7年4月>
(17	HI3 H-1	修士(言語教育情報学)
		新聞で学ぶ日本語A
スの州	講師	<令和7年10月> 修士(言語教育情報学)
その他	再即	
		新聞で学ぶ日本語B
		松本 亮
その他	講師	<令和7年10月>
		修士※(言語学)
		論理トレーニング
		Ayed Hasian
		() <令和7年4月>
		M.A. in Asian Languages and
		Civilizations:japanese (米国)
その他	講師	Communicative English 1r
ての他	神神	Communicative English 1o Communicative English 2y
		Communicative English 2g
		lougifor Deer Cuith
		Jennifer Rose Smith ()
		<令和7年4月> M.A. in Teaching English as a
7 O III	=# AT	Second Language
その他	講師	(米国)
		Communicative English 3b Communicative English 3v
		Conversation and Fluency A Conversation and Fluency B
		iconversation and Fluency B in its interest in a series in the series i
		()
その他	講師	<令和8年4月> 博士(人間科学)
		アジアの言語・文化を知る

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
その他	講師	樋口 尊子 () <令和7年10月> 修士(言語教育情報学) 新聞で学ぶ日本語A 新聞で学ぶ日本語B
		WIND C 1 33 A THE
その他	講師	佐藤 春樹 () <令和7年10月> 修士(心理学) 論理トレーニング
その他	講師	Ayed Hasian () <令和7年4月> M. A. in Asian Languages and Civilizations: japanese (米国) Communicative English 1r Communicative English 1o Communicative English 2y Communicative English 2g Communicative English 3b Communicative English 3v Conversation and Fluency A Conversation and Fluency B
その他	講師	吉本 康子 () <令和8年4月> 博士(人間科学) アジアの言語・文化を知る

#L 🗆		
教員		氏 名
区分		(年齢)
	1741. A	<就任(予定)年月>
	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		Δη π/ <i>L</i> =
		鄭 雅云 ()
		() <令和7年4月>
		修士※(文学)
その他	講師	
		中国語 I 中国語 II
		中国語並
		中国語Ⅳ
		仲島 淳子 ()
		<令和7年4月>
		修士(外国語教育学)
その他	講師	
		韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II
		韓国・朝鮮語皿
		韓国·朝鮮語IV
		177001 88 = -
		幸田(大塩) 美沙
		<令和7年4月>
		修士※(言語文化学)
その他	講師	Basic English 3b
		Basic English 3v
		資格の英語A
		資格の英語B
		スペイン語 I スペイン語 Ⅱ
		上田 由香理
7.00/16	=# AT	<令和7年4月>
その他	講師	博士(学術)
		ライフステージと栄養
		フュ ノステーンと米袞
		青 (栗田) 未空
		()
その他	講師	<令和7年4月> 博士(学術)
		博士(学術)
		ライフステージと栄養
		山城 稔暢
		()
その他	講師	<令和8年10月>
` '		博士(理学)
		美しい地球を創る
		梅原宏司
7.00/16	≘# AT	() <令和7年4月>
その他	講 師	博士(比較文明学)
		私たちはどう生きるか

# 5		
教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		鄭 雅云
その他	講師	<令和7年4月> 修士※(文学)
ての他	神神	中国語 I
		中国語II 中国語IV
その他	講師	仲島 淳子 () <令和 <mark>8</mark> 年4月> 修士(外国語教育学)
		韓国·朝鮮語Ⅲ 韓国·朝鮮語Ⅳ
その他	講師	林 玲穂 () <令和7年4月> 修士 (文学)
		韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II
その他	講師	幸田(大塩) 美沙 () <令和7年4月> 修士※(言語文化学) Basic English 3b Basic English 3v 資格の英語A 資格の英語B
		スペイン語 I スペイン語 I
その他	准教 授	上田 由香理 () <令和7年4月> 博士(学術)
		ライフステージと栄養 青 (栗田) 未空
その他	准教 授	(米田/ 木里 () <令和7年4月> 博士(学術)
		ライフステージと栄養
その他	講師	山城 稔暢 () <令和8年10月> 博士(理学)
		美しい地球を創る
その他	講師	梅原 宏司 () <令和7年4月> 博士(比較文明学)
		私たちはどう生きるか

数 号		
教員区公		氏 名
区分		(年 齢)
	職名	<就任(予定)年月>
		保有学位等
		担当授業科目名
		中周子()
その他	講師	<令和7年4月> 博士(言語文化学)
		文学の読み方
		磯 忠幸
その他	≇布	() <令和7年10月>
その他	神印	社会学修士 修士※(文学)
		小出 治都子
7 0 111	=# AT	() <令和7年4月>
その他	講師	博士(学術)
		 ポップカルチャー論
		神田 恵未 (塔林 図雅)
その他	禁師	() <令和7年4月>
てい他	ᄚ	修士※(商学)
		家計・消費と経済
		萩原 雅也
その他	講師	<令和7年4月>
	HI TH'I'	博士(創造都市)
		地域課題とボランティア活動
		中尾 秀一
その他	講師	<令和8年4月>
		修士※(国際学)
		国際社会と平和
		杉本 厚夫 ()
その他	講師	<令和8年10月> 博士(学術)
		レクリエーションと健康

6 To		
教員		氏 名
区分		(年齢)
	職名	<就任(予定)年月>
	466.10	保有学位 等
		担当授業科目名
		中 周子
		() <令和7年4月>
その他	講師	マガイギ4月2 博士(言語文化学)
		文学の読み方
		機 忠幸 ()
その他	講師	<令和7年10月>
(11).	H17-1	社会学修士 修士※(文学)
		宗教と現代
		11 440 1991 199
		牛嶋 興平
その他	講師	<令和7年4月>
C 03 18	the tack	修士(芸術)
		ポップカルチャー論
		渡邉 みのぶ
		()
その他	講師	<令和7年4月> 法学修士
		日本国憲法
		坂本 達也
その他	= 禁 在市	〈令和7年4月〉
(C 0) [E	아마 마바	法学士
		日本国憲法
		()
その他	講師	く令和7年4月> 修士※(商学)
		家計・消費と経済
		萩原 雅也
その他	講師	() <令和7年4月>
しい記	마하마	博士(創造都市)
		地域課題とボランティア活動
		中尾 秀一
		()
その他	講師	く令和8年4月> 修士※(国際学)
		国際社会と平和
		杉本 厚夫
その他	講師	() <令和8年10月>
	יוים ניום	博士(学術)
		レクリエーションと健康
		L

教員		I
_{致貝} 区分		氏 名
E71		(年齢)
	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		N/ LI I E-4
		担当授業科目名
		小野 由莉花 ()
その他	講師	<令和7年10月>
		修士(心理学)
		<u>心理学実験</u>
		鈴木 直人
その他	講師	() <令和7年10月>
で の 他	하다	心理学修士
		心理学実験
		笠井 賢治
		\ /
その他	講師	<令和8年4月> 文学学士
		文化政策学
		萩原 一平
2 0 11	=# * -	<令和9年4月> Master of Science in
その他	講師	Engineering
		(米国)
		脳科学とその応用
		竹村和久
その他	講師	() <令和8年4月>
	יויט נייט	博士(学術)
		行動経済学
		有國明弘
スカル	≘# AT	() <令和8年4月>
その他	講師	修士(文学)
		 社会調査の方法
		實本 正樹
		實本 正樹
i		<令和7年4月> 修士(学術)
その他	講師	修工(于例)
その他	講師	
その他	講師	物理で考える暮らし 美しい地球を創る

教員		L 9
区分		ト
	職名	保有学位等
		PR 13 3 12 43
		担当授業科目名
		津村朗子
その他	講師	<令和7年10月> 短期大学卒
		キャリア設計
		香坂 千佳子
その他	講師	<令和7年10月> 経営修士※
		キャリア設計
		小野 由莉花
その他	講師	() <令和7年10月>
	비그러야	修士(心理学)
		<u>心理学実験</u>
		井上 真理子
		十二、 具理士 ()
その他	講師	<令和7年10月>
ての他	일보 Eih	博士(医学)
		1
		.N. 1111 AM cts FA
		<u>心理学実験</u>
		笠井 賢治
その他	講師	笠井 賢治()<令和8年4月>
その他	講師	笠井 賢治
その他	講師	笠井 賢治()<令和8年4月>
その他	講師	笠井 賢治
その他	講師	笠井 賢治
その他	講師	笠井 賢治
	講師	 笠井 賢治 () 令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () 令和9年4月> Master of Science in
その他		笠井 賢治 () <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () <令和9年4月> Master of Science in Engineering
		 笠井 賢治 () 令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () <令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国)
		笠井 賢治 () <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () <令和9年4月> Master of Science in Engineering
		笠井 賢治 () <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () <令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用
その他	講師	 笠井 賢治 () 令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () 令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国) (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 ()
		笠井 賢治 () <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () <令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 () <令和8年4月>
その他	講師	安井 賢治 () <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () <令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 () <令和8年4月> 博士(学術)
その他	講師	 笠井 賢治 (1) <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 (9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 (1) <令和8年4月> 博士(学術) 行動経済学
その他	講師	安井 賢治 () <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 () <令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 () <令和8年4月> 博士(学術)
その他	講師講師	 笠井 賢治 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (8) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) <
その他	講師	 笠井 賢治 (1) <令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 (9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 (1) <令和8年4月> 博士(学術) 行動経済学
その他	講師講師	 笠井 賢治 (8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 〈令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 〈令和8年4月> 博士(学術) 行動経済学 有國 明弘 〈令和8年4月> 修士(文学)
その他	講師講師	 笠井 賢治 (1)
その他	講師講師	 笠井 賢治 (8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 一平 〈令和9年4月> Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 和久 〈令和8年4月> 博士(学術) 行動経済学 有國 明弘 〈令和8年4月> 修士(文学)
その他	講師講師	 笠井 賢治 〈令和8年4月> 文学学士 文化政策学 萩原 (19年4月>) Master of Science in Engineering (米国) 脳科学とその応用 竹村 (18年4月>) (本和3年4月>) 行動経済学 有 回 (18年4月) 行動経済学 社会調査の方法 社会調査の方法 で和7年4月>
その他	講師講師	 笠井 賢治 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2
その他 その他	講講講師師師	 笠井 賢治 〈令和8年4月> 文学 文化政策学 文のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
その他 その他	講講講師師師	 笠井 賢治 (1)

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	森 正憲 () <令和7年10月> 修士(工学)
		科学的方法の理解
その他	助教	富田(金澤) 愛佳 () <令和7年4月> 修士※(文学)
て の他	 切	アカデミック・スキルズA アカデミック・スキルズB 生活の中の日本語A 生活の中の日本語B

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	森 正憲 () <令和7年10月> 修士(工学)
		科学的方法の理解
その他	助教	富田(金澤) 愛佳 () <令和7年4月> 修士※(文学)
ての他	以 教	アカデミック・スキルズA アカデミック・スキルズB 生活の中の日本語A 生活の中の日本語B

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。

(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、 対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、 改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。

- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている 「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に 下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム (新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

【令和7年度】

- 【令和7年度】

 担当者追加として、令和7年4月神村朋佳講師就任。
 平野莉江子非常勤講師辞任により、樋口尊子非常勤講師に変更。
 松本亮非常勤講師辞任により、佐藤春樹非常勤講師に変更。
 Jennifer Smith講師辞任により、Ayed Hasian講師が科目を担当。
 時間割編成の都合により、兼重昇教授から杉浦隆准教授に一部担当変更。
 鄭雅云非常勤講師一部科目辞任により、兼重昇教授に変更。
 仲島淳子非常勤講師辞任により、林玲穂非常勤講師に変更。
 時間割編成の都合により、東田亮教授・坂田浩立教授が一部科目を辞任し、永野光朗教授に一部担当変更。
 時間割編成の都合により、中嶋興平非常勤講師に変更。
 時間割編成の都合により、中嶋興平非常勤講師に変更。
 越智砂織教授辞任により、法違みのぶ非常勤講師に変更。
 越智砂織教授辞任により、凌違みのぶ非常勤講師・坂本達也非常勤講師に変更。
 越智砂織教授辞任により、津利明子非常勤講師・坂本達也非常勤講師に一部担当変更。
 総全砂織教授辞任により、津村朗子非常勤講師・香坂千佳子非常勤講師に一部担当変更。
 鈴木直人非常勤講師辞任により、井上真理子非常勤講師に変更。
 命和7年4月中村圭美准教授就任。
 令和7年4月中村圭美准教授就任。
 令和7年4月上由由香理講師、青未空講師が准教授に昇進。

- 令和7年4月上田由香理講師、青未空講師が准教授に昇進。
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合**は、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。

原則としてAC教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C 教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります

・ A C 教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づ 「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-①設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-②基幹教員等数【大学】」を 連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2) 一① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数 (α)	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員数((α)の4 分の3以上)
5	3	4
名	名	名

- (注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 - ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、 高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) 一② 基幹教員等数【大学・高専】

			設置時の記	十画			現在(報告時)の状況									
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主事)」及び 「基(事)」の計) (A")	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(車)」の計) (B")	助手 (B')			
5	2	0	0	7	7	0	5	2	0	0	7	7	0			
(5)	(2)	(2) (0)		(7) (7)		(0)										
		現在(報告	時)の完成	戊年度時の*	伏況		現在(報告時)の完成年度時の計画									
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(車)」の計) (C")	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計) (D")	助手 (D')			
5	2	0	0	7	7	0	5	2	0	0	7	7	0			
		[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]								

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、

 - 「うち専6当該高等専門学校の教育に従事する者 (「基一」及び「基専」の計」)」として記入してください。 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、
 - 「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 - また、「計 (A) 」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A")」欄には「-」を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、

「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

- [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: \triangle 1)
- ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合: \triangle 1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	3
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づ、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、
 - 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 7 100 200	%
【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】 現在(報告時)の完成年度時の状況(C") = 7 設置時の計画(A") = 100	%
(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。	
(2)一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員権	
報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 1	14.28 %
(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。	
(2)一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率	
現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A') = = = 0 =	- %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) 一① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	基幹(専	任)教員	氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目		後任	補充状	況	京	【任辞 退	人未	就任)の	理由	1	
				該	当なし																
⊢						合計	(D)				<u> </u>			後	 後任補充状況	の集計	(E))			
	京	尤任 る	を辞	退した	教員数		担当科目	数の合計	† (a)	+ (b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の					③の 台	計	数(c))		
							必	修	0	科目	ý.	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
				選択		0	科目	追	選択	0	科目	選択	0	科目	選択		0	科目			
			0		٨ [自由		0	科目	É	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
				Ē	+	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計		0	科目			

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	基幹 (専任)	教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別 打	旦当予定科目	後	壬補3	充状》	兄		刮	任等	の理由			
	該当なし			まし															
	+																		_
	+						-		-										
					L														
				合計	(F)				後任補充状況の集計(G)										
	辞	任ι	た教員数		担当科目	目数の合計	├ (a) +	(p) + (c)	①の合	計数	(a)		②の合計	十数(b))	③の合計	③の合計数 (c)		
					必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	()	科目
				選択		0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	()	科目	
	0 人		人	自由		0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	()	科目	
		ī	†	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	()	科目			

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員**について、記入してください。 (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)	後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞任等した教	員数	①の合計	十数 (a)	②の合計	ŀ数(b)	③の合計数 (c)					
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	0	_	0]%
(2)-②設置時の計画(A)	_	7	-	"	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

0 人

- (注)・(3) ①、(3) ②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した基幹(専任)教員に対する後任補充状況

番	引職	位	基幹(専	i任) 教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
			該	当なし						_						
										4						
										-						
-	+									-						
<u> </u>					後任補充状況の集計											
	舌	辛任し	した教員	数	担当科目数の合詞	計 (a) +	(b) + (c)	(c) ①の合計数		(a) ②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		_			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0		人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹 (専任) 教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・基幹 (専任) 教員以外の教員 (兼任兼担教員) が担当する (している) 場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	学生が本学科の目的を 認識した上で学修する ことができるよう、 学科におけるリベラル、 アーツの定義を含めび3 養成する人材像及び3 遵守事項 で、分かりいですい問知 て、び説明に努めること。	学生が本学科の教育目的や本学のリベラルアーツがどのように学修であるよう、独立のポリックを表現を開発した。 3つのポリシーとのできるよう、とは、本学科の特徴を対象するとは、本学科の特徴を対象を対した。本学科の特徴が自身をびは、本学科の特徴が自身の仕組にないまり、学生が教育の世紀に取り自らることを表現している。	左記の取りに、なもが、強に、なもが、では、なもが、ないの学びというであが、ないの学びというであから、そのであい、とかでが、ない、であから、そのでのはでものがでが、とりででが、とりででがでが、とりででがでが、とりででがでが、では、ででは、ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
認可時(令和6年)	教確ミを者つる学との員てと定と教確ミを者つる学との員てと定と、は、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、ののでは、の	本学の学生募集は総合会型選抜入試報し、高いではより、でリースを募集にといるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	初かアるきら理的のす教冊くリル重学の大も今えつしにでいているず解な制る員子4一で要ん授成ら後、、も努度をツ、の、がパ限こ・、年冊、かで業がえ、入必視め度そツ、の、がパ限こ・、年冊、かで業がえ、入必視めではのに具か保進まフれは護校のを科どしあ通よを対して、いっなど解やかっトペでて向でしびう、かかエと推て、いっなどに解やかったででで成よ今受のど、し整を員育でなどと解やかったとりよいがなど、等夫の移定教はのに具か保進ンさと保護校学生のよかのよっ合物に入り、の、がパ限こ・、年冊、かで業がえ、入必視めて、とりトいれによりない。とう対ががみへ定一あをけの、がなど、等夫の移定者にいいるとには、ののがががある。まつとは、大ので、とり、というとは、大ので、とり、というというでは、大ので、とり、というというでは、大ので、とり、というというでは、大ので、とり、というというというでは、大ので、とり、というというでは、大ので、とりには、大ので、とり、というというというには、大ので、というというというと、は、大ので、というというというというというというというというというというというというというと
認 可 時 (令和6年)	完成年度前に、定年規 程に定めを教教の記 程に定めを教教の割定える高いの趣運力を踏めのままる。 年規超りに表述をといる連選のでは、 が選切ににおけるです。 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 連連でも、 をとも、 をとも、 をとも、 をとも、 をとも、 をとも、 をとも、 をと	定年年齢(65歳)を超えて採用した専任教員及び採用後4年以内に定年年齢を迎える基幹教員については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用をつては、職位・年齢等のパランス及び教育研究分野等を考慮した上で、基幹教員の採用を計画的に進める。	左記のとおり、今後、後任補充に あたっては年齢構成を考慮した計 画的な採用を行っていく予定であ る。

	1				
認 可 時 (令和6年)	学芸学部化粧ファッション学科の収容定員 超過の是正に努めること。		2023年度入学定員を20名増したことや、各入試においてよりアドミッション・ポリシーにマッチした受験生の選抜性を強める等した、設置部で申請時の収容定員し、2025年5月1日時点では1.10倍(599/540名)と収容定員超過を是正した。	履行済	
認 可 時 (令和6年)	学芸学部国際英語学科 の収容定員未充足の是 正に努めること。	【認可】 遵守事項	2025年度入学生に対し、定員減 (40→30)を行ったが、安定した 運営が見込めないため、2025年度 当該学科の募集を停止し、新たに 2026年度より「言語文化コミュニ ケーション学科」を届出設置予定 として検討を重ね、届出を行っ た。	履行中	国際英語学科を発展的に改組した学科コミュケ(令のでは、
認 可 時 (令和6年)	児童教育学部児童教育 学科の収容定員未充足 の是正に努めること。	【認可】	2025年度入学生に対し、定員減 (120→50)を行い、オープンキャン パス等の対面案内にも注力した が、最終的には入学定員に対して の充足率は46.0% (23/50名) に留 まった。	履行中	魅充力しにで時こかへ科次なか等を 大東の代と、、次誘比繋しのてい後、、も努力しにで時こたはらのににどらし行今えつしに、 、集識とWeb、るでかへ科次なか等を コはながが大き間であるが、現、、、、入必視のを対して力いをではブ高部プキー向画実がのをりが大き、まつとのでは、大き間であるが、現、、、、入め視のでは、現、、、、入め視のでは、表別のでは、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに
認 可 時 (令和6年)	健康栄養学部健康栄養学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】	2025年度入学生に対し、定員減 (160→100)を行い、オープンキャ ンパスでの対面案内の強化等を通 じて、最終的に入学定員に対して の充足率は改善された(92/100 名:92.0%)。	履行中	オープンやは が大型では が大型で が大型で が大型で が大型で が大型で が大型で が大型で が大型で がいるが がいるが がいるが がいるが でが がいるが でが がで がで がで がで がで がで がで がで が

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)(7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。